

2018 7.10 配信

月刊 サンエスウォッチング

創刊号

今月から『月刊サンエスウォッチング』を開始させて頂くことになりました。

「オリジナル製品の誕生」や「シーンに合わせた製品の特集」など毎号1つのテーマに絞り紹介していきたいと思えます。毎月第2金曜日の配信予定です。次号のテーマは「JFF #501」を予定しています。



愛犬「まめ」

こんにちは。

東京サンエス代表の坂井美紀と申します。

風を切って走る気持ち良さ、グループでも一人でも、家の前からでも電車に乗って行った旅先でも、自転車ですらに笑顔になっていただけるような製品をご提供できますようこれからも努力し続けます。

自分らしく楽しめる自転車。ご自分の楽しみ、見つけてください。

東京サンエス ストーリー

大正から昭和に移行して間もない1927年（昭和二年）、創業者である坂井金一が坂井商店を開業したことから歴史は始まりました。当時、庶民には高嶺の花如く高級品であった自転車を広く一般にも普及させたい一心で、自転車界の道に進むことになったのです。紆余曲折を乗り越え創意工夫を重ね商売を前進させ、時勢は戦後復興も軌道に乗り、1962年には社名を東京サンエス株式会社としました。東京都台東区上野の「御徒町（おかちまち）」駅周辺は当時自転車の町とも言われていましたが、そんな町の中に位置します。そんな環境下で日夜、業界仲間と開発談義を繰り返す中、それが軸となって1974年に初のオリジナルブランド「VIVA（ビバ）」が誕生。創業以来、メーカーたらんとするサンエススピリッツが継承され、ユーザーが必要とする自転車用品部品の開発販売に注力、1984年に坂井亮が二代目社長に就任しました。その後、アクセサリはもとより、欧州有名自転車ブランドや米国カナダの有名MTBブランドの国内販売総代理など、主にスポーツ自転車先進国である海外の優れた製品の国内拡販に注力しました。そんな中、着せ替え感覚のカスタムメイドの楽しさを日本の多くのサイクリストに気軽に楽しんでもらいたい思いから、1994年にMTB系のパーツ&アクセサリブランド grunge（グランジ）を発表。ユーザーが必要とする製品作り「VIVA」の精神を基とするオリジナル製品群は、その後も Dixna（ディズナ）や OnebyESU（ワンバイエス）それに女性向けアパレルの rocowowa（ロコゴワ）などによって綿々と引き継がれています。

2017年には坂井美紀が三代目社長に就任し、基本精神を受け継ぎつつ、新たなるスタートを切りました。

東京サンエスはこれからも、信頼協力関係にあるメーカーや工場と共に、多くの国内国外の優れた商品とオリジナル商品を皆様にご提供するとともに、自転車に乗る人達と、使用される物との豊かな調和を目指して、日々取り組んで参ります。



昭和37年9月の
サンエス自転車株式会社



平成13年頃の
東京サンエス株式会社



平成30年現在の
東京サンエス株式会社



現在のカタログスタイルになったのは平成7年から。
最新のカタログはVol.25です。